

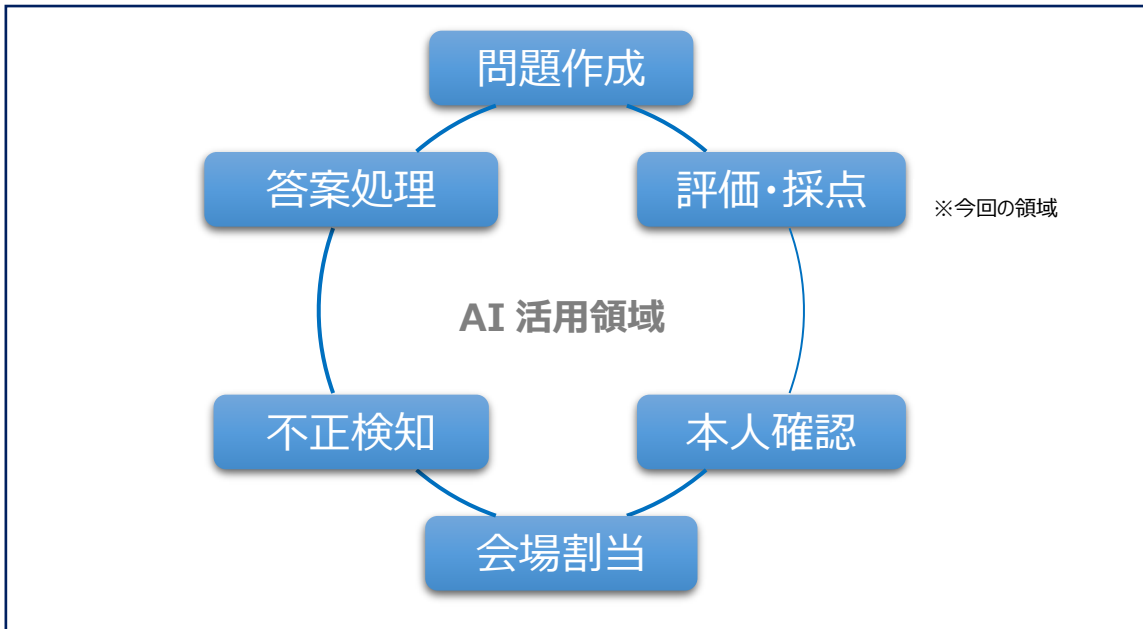
実用英語技能検定（英検） 一部の評価・採点業務に AI 活用実施のお知らせ

公益財団法人 日本英語検定協会（以下、英検協会）は、9月12日（火）にAIを活用した研究開発を再開した旨のご案内^{※1}をさせていただきました。

英検協会では、AIを活用した実証実験を継続して行っています。この結果として、協会内規定を上回る高い水準の結果が得られたため、実用英語技能検定（以下、英検）の2023年度第2回検定から、一部の評価・採点業務でAIを活用していくことを決定しました。なお、これ以上の詳細は機密性を含む情報となりますので、差し控えさせていただきます。

今後とも、AIの活用については、英検の制作業務だけでなく、協会内の様々な業務にも積極的に活用していく予定です。これにより、検定試験の提供における生産性と品質を高めていくことを目指してまいります。

英検の主な AI 活用領域



評価・採点領域以外のAI活用の状況につきましては、方針が決まり次第、追ってご案内申し上げます。

※1 [ご報告：現在のAIの研究開発の進捗について（2023年9月12日付）](#)